

## 授業時数特例校とは・・・

文部科学大臣が、学校教育法施行規則第55条の2等に基づき指定する学校において、学校や地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するため、総枠としての授業時数は引き続き、確保した上で、教科横断的な視点に立った資質・能力の育成や探究的な学習活動の充実等に資するよう、カリキュラム・マネジメントに係る学校裁量の幅の拡大の一環として、教科等の特質を踏まえつつ、教科等ごとの授業時数の配分について一定の弾力化による特別の教育課程の編成を認める制度です。

# 授業時数特例校の取組 八代小学校

本校は学校や地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するため、これまでの標準時数は確保した上で、教科等の授業時数配分について一定の弾力化による「特別の教育課程」の編成を認める制度に申請し、令和7年2月文部科学省より「授業時数特例校」に指定されました。

## 授業時数特例校について

### 【特例の目的】

八代小や郷土への愛着や誇りを育み、教科横断的な視点に立って、探究的な学びを充実させるため、単元を総合的な学習の時間に設定し、以下の資質・能力を育成する。

- 探究課題に対して多面的な視点で探究活動を行い、八代小の特色やよさに気づき、探究課題に対する概念形成をすることができる。
- 八代小のよさを受け継いでいこうとする人々の思いや努力に気づき、学習の成果を効果的に表現することができる。
- 探究的な学びの活動からこれまでの学校生活を振り返り、自分の生き方にどう生かすしていくか考える（実行する）ことができる。

# 授業時数特例校の取組 八代小学校

## 【上乘せする教科】

総合的な学習の時間

## 【学習内容】

- ①様々な人との関わり、探究活動を通して八代小学校のよさを理解する
- ②八代小のよさを発信する
- ③今後の学校生活にどう生かすか考え、実行する

## 【授業時数表】

## 【期待される効果】

- ①課題解決能力の育成  
探究的な学習のよさに気づく
- ②互いのよさを生かしながら協働的に学ぶ力の育成
- ③自己の生き方を考える力の育成

	3年	4年	5年	6年
国語	2 4 5 → 2 4 0	2 4 5 → 2 4 0	1 7 5 → 1 7 0	1 7 5 → 1 7 0
社会	7 0 → 6 7	9 0 → 8 7	1 0 0 → 9 8	
理科	9 0 → 8 8	1 0 5 → 1 0 3	1 0 5 → 1 0 2	1 0 5 → 1 0 0
総合的な学習の時間	70→80	70→80	70→80	70→80